

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 7月12日更新

事務事業名		合志市まちづくり団体等設立支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	企画課	担当者名	上村 雅則
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保			所属班	企画広報班	(内線)	1256
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11643	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域づくり団体の設立を支援する事業で、市内を主に活動拠点とし、まちづくり活動を開始しようとする、構成員の過半数が市内に在住または勤務する5人以上で構成される新規団体に対し、設立に必要な経費を、1団体あたり10万円を上限として補助する事業。
【業務の流れ】	補助金交付申請書受理 ②審査及び決定 ③補助金交付決定通知 ④補助金交付請求書受理 ⑤補助金交付事務 ⑥実績報告書受理 ⑦内容審査及び残務事務
【主な予算費目】	設立補助金1団体10万円
【意見や要望】	住民からは、ボランティアに参加したいがきっかけや仕方がわからない。また、活動や団体を結成するためには資金面で難しいとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	まちづくり活動を開始しようとする新規団体へ活動資金の補助を行う事業。市ホームページにて事業啓発を行ったが、相談や申請はなかった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ イ: 申請のあった団体数	例年どおり①補助金交付申請書受理 ②審査及び決定 ③補助金交付決定通知 ④補助金交付請求書受理 ⑤補助金交付事務 ⑥実績報告書受理 ⑦内容審査及び残務事務 の流れで事務を行う。令和4年土は申請がなかったため執行率0%となっている。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域づくり団体を結成できる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
近年の実績から令和4年度の目標値は1団体と設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア 団体	0	0	1	0	1	1	1	1	
	イ 団体									
② 対象指標	ア 人	63,189	63,189	64,614	64,453	65,500	66,391	67,270	68,688	
	イ 人									
③ 成果指標	ア 団体	0	0	1	0	1	1	1	1	
	イ 団体									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円			100	100	100	100	100
		(A) 事業費計	千円	0	0	100	0	100	100	100
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	2	0	2	2	2
延べ業務時間	時間	0	0	100	0	100	100	100		
(B) 人件費計	千円	0	0	398	0	398	398	398		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	498	0	498	498	498		

事務事業名	合志市まちづくり団体等設立支援事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 当初予算に対し見込み通りの申請がなく、目標は達成しなかった。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成27年度の申請団体は全て、地域福祉関係の団体であり、今後も介護福祉制度の改正に伴い地域福祉の充実が求められるため達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 介護福祉制度の改正に伴い地域福祉の充実が求められるため地域福祉団体の設立と共に地域福祉団体からの申請が増えることが予想されるため成果工場の余地はある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地域ボランティア団体の設立支援であり、補助を行う事業であるため統廃合・連携の可能性はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 地域ボランティア団体の設立支援事業であり、上限額を設定した補助事業であるため、事業費の削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で行っているため人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域ボランティア団体の設立支援であり、全市民が対象であるため受益機会・費用負担は適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

地域ボランティア団体を増やすことを目的として始めた事業であるが、平成28年度は、申請がなかった。今後も、地域福祉団体の設立の見込みはあるものの、反面、地域福祉関係以外の地域ボランティア団体の設立のための仕掛けが必要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						